

口歴史 『神々の世界』

盤上の昔、雲上にはドラゴンが飛び、女神の奏でる音楽が鳴り響く世界。
天の盤面には、幾多の、神々が、暮らしていました。
平行と秩序。

神々は、独自性を監視しつつ、平行を保っていました。

信仰、尊敬、畏怖、の存在である、神々。
太古の昔、土を耕し、漁をし、生活の営みをつけていた人間たち。
天の神に、怯え、祈りながら暮らしていました。

アダムとイブが、知恵の実を手に入れた頃。
人間は、同時期、文明という、力を手に入れます。
人間の時代、創造期。
文明は、飛躍的に進歩し、スピードを増し、行き過ぎたスピードは、歯止めを効かなくし。
倫理を超えてしまいます。

自らが犯した過ちの咎からか、人間は、神に挑みだします。
深層の恐怖である、神々を殺そうと、近代兵器を手にし、軍隊で詰め寄る、人間。
神と人。
幾千の時を遡り、戦いを繰り広げる神々と人間は、フォース＝エセリアの歴史書に記されています。
終わりのなき戦いに見えましたが、
数百万人を超す、人間の補充により、神々にも、いつしか、疲れが見えはじめます。
近代兵器の水域による、一撃。
悠久の時に見えた戦い。
戦いは、人間の勝利に終わります。

神々は、気化します。
「我、この世界とともにあらん」と。
このフォース＝エセリアの惑星で、人間たちの行く末を、今も、監視、見守っていることでしょう。

時は変わって、精霊力の強い、過疎村。
何かわからない、天国、もしくは、地獄と、通信するものも現れてきました。

そう、それが、フォース＝エセリアの精霊魔法の始まりです。

わずかに生き残った、特異能力者。
人類に、光をもたらす、希望になるか、否か。

ここから、辛辣な、人間の世界が始まります。

口歴史 『人間の世界』

Force. ESLAR. TRPG.
ものがたりへ。